

## 「横浜開港150周年記念・大相撲横浜場所」の入場券を寄贈

神奈川県遊技場協同組合（関根貞雄理事長）と神奈川県福祉事業協会（平川正寿会長）は昭和60年から継続している社会貢献事業の一環として、来たる10月18日（日）、横浜文化体育館において開催される「開港150周年記念・大相撲横浜場所」に横浜市内に在住する高齢者等を招待することとし、この度横浜市に対し入場券380枚(200万円相当)を寄贈いたしました。

1. 寄贈月日	平成21年8月28日（金）
2. 寄贈物品	大相撲横浜場所入場券380枚(200万円相当)
3. 寄贈先	横浜市
4. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合 理事長 関根貞雄 神奈川県福祉事業協会 会長 平川正寿

### 5. 概要

この事業は、平成19年から継続して行っているものです。

寄贈チケットは、横浜市を代表して佐々木副市長にお渡しいたしました。横松横浜市社会福祉協議会常務理事など関係部局の方々も同席されましたが、佐々木副市長は代表して、「横浜開港150周年の記念の年に、こうして招待して頂けることは相撲の好きな高齢者の方にとっては大変うれしいことと思います。入場券は、横浜市社会福祉協議会ボランティアセンターを通じて市内の高齢者等に配付させていただきます。」と感謝の言葉を述べられました。

平川会長は、「こうした社会貢献活動が地域の福祉活動のお役にたてればこの上ない喜びであります。私たちはこれからもこうした活動を続けていきたいと考えております。」と挨拶いたしました。

寄贈式の模様は、平成21年8月28日付神奈川新聞にも紹介されました。



佐々木横浜市副市長（左から二人目）、平川会長（中央）、  
関根理事長（右から二人目）